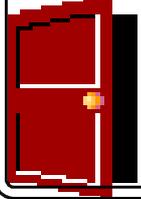


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年11月28日 文責 渡邊

## 「読み聞かせ」へのご協力、ありがとうございました！ 「読み聞かせボランティアの記録」を紹介します！

読書通信『読書活動への扉を開く！』の10月31日号で、保護者による読み聞かせについて写真を用いてその様子を紹介しました。

読み聞かせに協力いただきました保護者から、「読み聞かせボランティアの記録」を提出いただいています。そこには、「どうしてその本を選書したのか」や「当日の子どもたちの様子」等が記されています。とても温かく優しい思いが綴られており、本校の子どもたちを大切にしている気持ちがいっぱい伝わってきてとても嬉しく思いました。

そこで、学校と保護者、地域の皆さんと共有し、これからの読書活動の推進へと発展していくことを願い、「読み聞かせボランティアの記録」の一部を紹介します。



【読み聞かせの様子】

### 【第1学年教室読み聞かせ 保護者の記録より】

本の題名 「ハロウィーンのひみつ／はやしちかげ著」  
記 録

子供たちが盛り上がる本がいいのか等いろいろ考えましたが、時期的にと思いハロウィーンの本を選んでみました。皆静かに聴いてくれました。ありがとうございました。

本の題名 「きみが知らない ひみつの三人」(ヘルメハイネ作 天沼春樹訳)  
記 録

頭と心と体のバランスを保つために、体の中で働くひみつの三人のお話です。かわいいイラストで、三人の働きをおもしろおかしくわかりやすく語りかけてくれる絵本です。ひみつの三人が自分の中にもいるかもしれないと感じて、自分のことを大切に大好きに思ってくれたら嬉しいです。

### 【第2学年教室読み聞かせ 保護者の記録より】

本の題名 「シロナガスクジラより大きいものっているの」  
記 録

象よりも大きな「シロナガスクジラ」からはじまる、まだ知らない大きいものを順に比較し、宇宙の大きさを知るお話を読みました。

はじめは動物園でも見たことのある象からはじまり、だんだんありえない状況の大きさの比較になるたびに、笑顔がこぼれて夢中で見てくれました。最後は少し難しい宇宙のお話が多くなり、少し退屈になってしまったかな。

本の題名 「あらしのよるスペシャル ごちそうがいっぱい」(きむらゆういち作)  
記 録

他の学年での読み聞かせは初めてとなり、2年生の皆さんは少し長くなってしまったけれど、途中であきることなく静かに最後まで聴いてくれました。今回読んだ作品は、3年生の国語でも習う「あらしのよる」のシリーズになります。あらしのよるに出会ったオオカミとヤギの秘密の友達。だから会うのも大変。シリーズがいろいろあるのでオススメです。

#### 【第3学年教室読み聞かせ 保護者の記録より】

本の題名 「木のまつり」(新美南吉作 鈴木靖将絵)  
記 録

みんな静かに聴いてくれました。3年生には少し短い文章だったかもしれませんが、新美南吉さんは有名な児童文学作家なので作品にふれる機会になればと思い、この本を選びました。

本の題名 「ゴリラおとこ・ブタおとこ・ワニおとこ」(左千夫作 西田としお絵)  
記 録

3年生ともなると、自分も少し緊張してしまうので、まず、なぜこの本を選んだのかということの説明させてもらいました。単純に自分の子がゴリラが好きだからという理由ですが、少し笑いが起きて、お互いに雰囲気は楽しくなるかなと思い説明しました。自分もそのおかげで、それほど緊張はしなかったのですが、子供の様子をほぼ見ていなかったと反省しています。しかし、真剣に聴いている中、おもしろいところで笑ってくれ読んでよかったなと思いました。

#### 【第4学年教室読み聞かせ 保護者の記録より】

本の題名 「10歳のミッション キミを一生ささえる31の行動」  
記 録

今の10歳はしっかりしているなと感じました。子供っぽさがもっとあってもいいような、けれど、話、内容にはそれぞれの意見を言える低学年から中学年、そして高学年へと成長しているのだと嬉しく思えました。

本の題名 「ねずみとくじら」(ウィリアム・スタイグ作)  
記 録

二人が住むのは、陸と海。この先二度と会えなくても大切な友達。  
みんな静かに聴いてくれていました。自分の子が「読んだことのない本を」ということで、私も読むのが2回目で緊張しました。朝から静かなお話すぎたかなと心配でしたが、うちの子からは「感動的でよかったよ」と言われて、ほっとしました。

今回は、第1学年から第4学年の教室で読み聞かせを行っていただいた保護者の「読み聞かせボランティアの記録」の一部を紹介させていただきました。紙面の都合で全員の方の記録が紹介できないことを申し訳なく思います。記録の中では、図書を選ぶ思いやご苦労が感じられるとともに、お家の中で、我が子との交流があることが読み取れ、とても嬉しく思いました。特に「うちの子からは『感動的でよかったよ』と言われて、ほっとしました。」の感想は、心がとても熱くなりました。読書活動を通して温かな優しい心をこれからも育んでいきましょう。